

# 【コンサル生限定マニュアル】

～ 1ヶ月目の戦略

ライティング編～

## 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。

できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。

(無料) <https://get.adobe.com/jp/reader/>

### ◆著作権について

当レポートは、著作権法で保護されている著作物です。使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

◇レポートの著作権は、作者にあります。作者の書面による事前許可なく、本レポートの一部、または全部をインターネット上に公開すること、およびオークションサイトなどで転売することを禁じます。

◇本レポートの一部、または全部をあらゆるデータ蓄積手段(印刷物、電子ファイル、ビデオ、DVD、およびその他電子メディアなど)により複製、流用および転載することを禁じます。

### ◆使用許諾契約書

本契約は、レポートダウンロードした法人・個人(以下、甲とする)と作者(以下、乙とする)との間で合意した契約です。本レポートを甲が受けとることで、甲はこの契約は成立します。

第 1 条(目的)本契約は、本レポートに含まれる情報を、本契約に基づき、甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第 2 条(第三者への公開の禁止)本レポートに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。また、本レポートの内容は、秘匿性の高い内容であり、甲はその情報を乙との書面による事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。

第 3 条(損害賠償)甲が本契約の第 2 条の規定に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、違約金として、違反件数と金壹萬円を乗じた価格の 10 倍の金額を支払うものとします。

第 4 条(その他) 当レポートに沿って実行、期待通りの効果を得ることができず、万一如何なる損益が生じた場合でも、乙は甲に対して責任を負わないものとする。

# もくじ

記事を 30 分～1 時間で書く方法 .....	6
目指すべき記事作成時間 .....	6
記事の書き方 .....	9
プラス@（潜在ニーズ）や記事内容を膨らませるヒント .....	17
文字数を増やすテクニック .....	20
ライバルが気づいていないけど重要なこと .....	25

コンサル生 1 か月目のマニュアルではネタ選定の肝をお伝えしました。

それをうまく利用して、すでに**数千 PV レベルはもちろん、万レベルのアクセスの爆発**を起こしてきている人も出始めました。

前回のマニュアルでお伝えしましたが、ネタ選定のスキルは何にも優先して付けるべきものです。

同時に将来的には「資産ブログ」を構築することが目的なので、

「質の良い記事を素早く書く」ということも少しずつで  
良いので、

**今のうちから徐々に意識してほしいです。**

**そこで今回は主に「記事作成」にフォーカスしたノウ  
ハウをお伝えしていきますね！**

# 記事を 30 分～1 時間で書く方法

## 目指すべき記事作成時間

僕は「速報系の記事なら 1200 文字を **30 分～1 時間**で書けるのが理想」と考えています。

そのため、まずはここを目標にして行動してもらいたいです。

ただいきなり 3 時間記事作成にかかっている人が、「1 時間で記事を書いてください」と言っても厳しいので、

まずは 2 時間半で書けるようにする、

そしてそれができたら 2 時間で・・・

という感じで少しずつ記事を書くスピードを速めていきましょう！

重要なのは「**時間を切って、その時間内で書けるようにする**」ということです。

**「質の良い記事を書きたい」**

これは大切なことですが、やはり「優先順位」というものがあります。

ブログがまだ強くない初期の頃は、とにかくアクセスを集めることが大事です。

アクセスを集めるためにはネタ選定のスキルをつけることが大事です。

ネタ選定のスキルを付けるためには、1 記事でも多く記事を書く必要があります。

となれば、心構えとしては 7、8 割くらいの質の記事でも良いので、

「決めた時間内に終わらせる」ということが大切になってきます。



そしてアクセスが集まったらその記事を追記し、  
120%のクオリティに持ち上げる・・・くらいのスタンスで  
行きましょう！

記事の質に限らず「優先順位を決める」これが最重要  
事項であることを忘れないでくださいね！

## 記事の書き方

それではここでは実際に、素早く記事を書く方法をお  
伝えします。

ここで紹介する方法は、あくまでまだ素早く記事を書けない人が、

記事作成時間を減らせるようにするための方法です。

記事の作成の仕方は人それぞれですので、すでに30分から1時間で1200文字かけるという方は、自分のやり方を続けて貰って大丈夫です。

僕は次のステップで記事を書いて行きます。

**1 : タイトルの答えを見出しとして作る**

**(脱退理由⇒脱退理由は？など)**

**2 : 見出しができたならその見出しの内容を埋める**

**3 : 文字数が足らなかったら、各見出しの内容を膨らませていく**

**4 : 「これも書いて行くと良さそうだ」という部分を付け足す。**

どういふことなのか、一つずつ説明していきますね！

**【1 : タイトルの答えを見出しとして作る】**

まず最低限記事の中に含めてあげるべきなのが、

**「タイトルに入っているキーワードについて」**です。

例えば次の記事を書くとしてします。

## **「田中秋絵と南坂尚人の結婚の馴れ初めは？交際 はいつから始まったの？」**

このタイトルを見てアクセスしてきた人は最低限

- ・結婚の馴れ初め
- ・交際はいつから始まったのか

この二つを知りたい人ですよ？

なので、まずはこの二つの事を満たす記事を作成する  
必要があります。

そのためまずは、この情報を満たすための見出しを作ります。

**「見出し 1 : 田中秋絵と南坂尚人の結婚の馴れ初めは？」**

**「見出し 2 : 田中秋絵と南坂尚人の交際はいつから始まったの？」**

(二つを一緒の見出し内で書きたいときは、一緒の見出しにしてもらっても大丈夫です。)

**【2 : 見出しができたなら、見出しをすべて埋める】**

見出しができたなら、まずはその見出しの中に文章を書いて行きましょう！

見出しが 3 つあれば 3 つ、2 つあれば 2 つ、それぞれ埋めて行きます。

例.....

見出し：田中秋絵と南坂尚人の結婚の馴れ初めは？

お二人の馴れ初めは友人の紹介とされています。  
実はお二人には××という友人がいて、...

.....

**【3：文字数が埋まらなかったら、各見出しの中の内容を膨らませていく】**

見出しを一通り埋めても文字数が埋まらない場合がありますよね？

ここで初めて今まで書いてきた各見出しの内容を膨らませて、**文字数を増やして行きます。**

例.....

見出し：田中秋絵と南坂尚人の結婚の馴れ初めは？

お二人の馴れ初めは友人の紹介とされています。

実はお二人には××という友人がいて、・・・

**この××さんについてご存じない方も多いのではないのでしょうか？**

**この方は△△、○○などのドラマに出ている若手NO1 人気俳優で～**

.....

**【4：記事を書いている途中で、「これも書いて行くと良さそうだ」という部分を付け足す。】**

ある程度各見出しの内容を膨らませて、それでも文字数が埋まらない場合は、

「これも書いて行くと良さそうだ」と思った内容を追加するために、

新たに見出しを追加し、内容を埋めて行きます。

いわゆるタイトルの内容に対して、「**プラス@**」の内容ということですね。

コンサルの中で「**潜在ニーズ**」とお伝えさせていただいたのがこの部分です。



それではこの「プラス@の部分」とはどんなものなのか、  
いくつか例を書いて行きますね！

## プラス@（潜在ニーズ）や記事内 容を膨らませるヒント

### 【人物推測系】

例) イニシャルトーク、「～の俳優（女優）は誰」など。

・予想で出した人物について、深堀していく（プロフィールなど、ただしイニシャルトークなどでは名前出しは注意）

・結婚や交際していた人物であれば、そのメインキーワードの人物の過去の恋愛遍歴など

- ・不倫相手であれば嫁など（嫁は別記事で書くのもアリ）

## 【場所系】

例：××のホテルの場所は？、ロケ地は？など

- ・ロケ地の場合は周辺の別ドラマで使われたロケ地など
- ・その場所への詳しいアクセスの仕方など
- ・その場所の詳しい概要など

## 【画像、動画など】

- ・動画、画像に関する自分のコメント、感想、意見など

- ・類似動画の紹介など

- ・ネットの声など

その他にも“こんな KW の時はどうしたらいいの？”と

思った時は、

音声やチャットで聞いてくださいね！

# 文字数を増やすテクニック

よく僕がコンサルの中で相談を受けるのが

**「文字数が埋まらないです・・・どうすれば良いですか？」**

ということです。

そこで！

今回はいろんな記事で応用ができる、

**質も担保しながら文字数を増やすテクニック**を一つお伝えします。

それが「**トライアングルライティング**」です！

ということかと言うと“記事の中に 3 人の登場人物を作って内容を書いて行く”という手法です。

何も難しいことではなく、3 人で会話をするようなイメージで書いていきます。

3 人とは、

・「自分」

・「キャスター」

・「世間の人」

というイメージです。

早速具体例を見ていきましょう！

例題.....

人気司会者川上穂高がスキャンダルを起こし、  
人気番組「秘密のケンミン・デ・ショー」の降板が決ま  
った。

.....

※狙うキーワード：「川上穂高 ケンミンデショー 後  
任」

**キャスター：人気司会者川上穂高さんがケンミン・デ・ショーを降板することが決まり、さっそく次の司会者が誰なのか話題になっていますね？**

**(事実・概要)**

**世間の声：ネットでは後任として田中秋絵さんや大沢喜久子さんが有力視されていますね。**

**その理由は～とのこと。**

**自分：確かに～という理由があるので後任の予想として名前が出て来るのは納得です。でも僕は鮫島彩さんあたりだと思うんです。理由は・・・**

という感じで、

**キャスター（事実）⇒世間の声⇒自分**

で3人で会話をしているように記事を書いて行きます。

このトライアングルライティングはいろんな予想記事で使えるので非常に使い勝手が良いし、質の良い記事を素早く書くことができます。

ぜひ記事作成に取り入れてみてくださいね！

(次のページへ)



# ライバルが気づいていないけど重要なこと

記事を書く上で重要なのが「しっかりと記事を読んでもらえるかどうか」。

アクセスしてきた人にしっかり記事が読まれているかどうかは、ブログの評価だけではなく広告単価も変わってきます。

しっかり記事を読まれるかは記事の質も重要ですが、もうひとつ欠かせないものがあります。

しかしここは意外と見落としているブロガーが多いです。

その重要なものとは・・・

**記事の「導入部分」です！**

記事の導入部分とはこの部分のことですね。



B! 0 Like 0 ツイート Pocket

櫻坂46のセンターで絶対的エース・平手友梨奈さんが“脱退”を発表しました。

同じメンバーである織田奈那さん、鈴木美愉さんは“卒業”に対して、平手友梨奈さんは“脱退”と表現が全く違います。

なぜ“卒業”ではなく、“脱退”するのかと言うと『いくつかの理由がある』と言われていません。

その理由とは！？脱退の理由をまとめてみましたので、深掘りして調査していきます！

この見出し部分は自分のブログにアクセスしてきた人が、始めに見る部分となります。

そのためこの部分を見た時に、

「これ情報無さそうだな・・・」とか「この記事つまらなそうだな・・・」

となればしっかり読んでくれない可能性がありますよね？

そのため稼ぐブロガーは、この「導入部分」を工夫しています。

例えば「田中秋絵と山下智明の結婚式の場所は？  
～」

というタイトルの以下の二つの見出しを見比べた時に、

どちらか続きを読みたいと思いますか？

## パターン A.....

人気芸能人田中秋絵が結婚しました。

お相手はアイドルの山下智明さんです。

ここではお二人の結婚式の会場はどこなのか、ネットの予想をまとめてみました。

.....

## パターン B.....

人気芸能人田中秋絵が結婚しましたね！

お相手はあのアイドルの山下智明さんです。

となれば気になるのがお二人の結婚式の会場・・・

ネットでもさまざまな予想が出ましたが、

実は意外や意外、都内の“あの場所”だったんです！

ここではお二人の結婚式の会場はどこなのか、そしてその場所への一番効率的なアクセスの方法を詳しく解説して行こうと思います♪

.....

**パターン A よりパターン B の方が、  
興味がそそられるのではないのでしょうか？**

ちなみに導入部分について、意識することは以下の点です。

**・続きが気になるようなフレーズを入れる**

**⇒この場合であれば「実は意外や意外、都内の“あの場所”だったんです！」など。**

・タイトルで狙った KW を含める

・記事の内容より、さらにしっかり文字の装飾などを行う。

(文中にあまり装飾をしていない人も、導入部分だけはしっかり装飾をしましょう！)

ネタ選定だけではなく、記事作成も「相手目線」に立つことが重要になってきます。

導入部分にどんなことが書かれていたら、自分の記事に興味を持ってもらえるのか、

かなり重要なことですが、なかなか意識できているブロガーは少ないです。

しっかりここを意識して、有利に戦っていきましょう！

というわけで、今回は記事作成のフォーカスした内容  
をお届けしました。

ブログを資産化するためには重要なことなので、しっか  
りインストールして実践してください！